

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 星の家

目標達成計画

作成日: 平成 25年 12月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	職員の人数的な制限により、ひとりひとりの希望による外出ではなく、職員の都合によるものになりがちである(施設外へ出る事の制限がある)	利用者が希望されるときには、天候などで外出できない場合を除き、外に出かけられるようにする。	ユニットの縛りに関係なく、人員のあまっているユニットから人手を出すことによって対応する。また、ある程度、全利用者の状態を把握しておく必要があるため、職員のユニット間移動を頻繁に行い、対応力をあげる。	12ヶ月
2	34	全職員が救命救急講習を受講しているが、実際の現場での対応力を全職員が身につけているとは言い難い。	医療的な知識をある程度もち、利用者の異変を早く察知し、医師につながる事を職員全員が当事者意識を持って日常の介護が出来るようになる。	高齢者に多い病気などのセミナーに知識のない新人から出席してもらい、少しでもレベルアップを図っていく。	12ヶ月
3	33	終末期を看取った経験がない職員が多いことから、利用者に対して十分な看取りをおこなえるか課題が残る。	施設での看取りを希望される家族の期待にそえるよう利用者、家族共に満足のいく看取りが行えるようになる。	少しずつ看取りの経験を積んでいき、対応力を高めていく必要があるとともに、看取りに必要な知識を医師や看護師から学んでいく必要がある。また、その際の職員の精神状態を見極め、スーパーバイズできるよう主となる職員には看取りに関するセミナーの出席も求められる。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。